

# ワクワク通信

ガスも電気もリフォームも水道も!!

量販店の価格で、専門店のサービス

## 社長エッセイ

### 「北国紀行」その1



5月の後半、会議の為北海道に行つて参りました。前日までの風雨も嘘のように上がり、初めて乗る茨城空港の空も見事に晴れ渡つておりました。今迄こんなに近くに居るのにこの身近な空港を利用する機会がありませんでした。LCC(格安航空)とはどのようなサービスなのか?等々様々な憶測を働かせながら機内で食べる空弁を買い込み乗船しました。

やはり機内は満席というこどももあり、そこそこ狭い感じはしましたが、それ程窮屈感はありませんでした。飲み物も有料で販売しておりますが、殆ど100円と言うリーズナブルな価格。ポロシャツ姿のCEと伴

に1時間10分という新千歳までの機内はそれなりに快適でした。到着後は最初の目的地旭川を目指します。5月といえども未だ北海道は風が冷たい感じます。市内から一望出来る大雪山国立公園の山々もすっかりと冠雪しており、やはり夜は防寒着無しではきつい感じでした。



当日は無事総会を終え旭川に宿泊。翌日は少し観光を兼ね、あの有名な旭山動物園を見学。動物の展示方法のユニークさが売り物だけに、来園者に楽しんで頂く為の工夫が所々に見受けられ、私共の仕事の上でも大いに参考になりました。(特に白熊の餌付けは大人気で長い行列ができておりました)

やはり北海道は観光地としても根強い人気があり、外国人観光客はもとより水戸の修学

旅行生(複数校)とも各地で遭遇しました。

昼には名物「旭川ラーメン」を食べ、次の宿泊地の札幌へと向かいました。道内第2位の都市である旭川と比較しても、さすがに札幌は別格、人口200万人に迫る大都市であります。その札幌も北海道開拓当初は2世帯7人の家族から始まったようですが、冬季オリンピックを経て世界に知れ渡り各国から多くの観光客が訪れるようになったそうです。

来月号では、札幌く小樽編をお届けします。



## イベント情報

### 茨石ゴルフコンペ結果

先月5月13日に5回目となる茨石商事主催のゴルフコンペが行われました。

たくさんの方々にご参加いただきありがとうございました。また、参加できなかった方も来年も開催する予定です。来年こそはご参加ください。

### ●上位入賞者成績●

- 優勝 谷田川 泰様
- 準優勝 渡辺 克巳様
- 3位 坂本 幸雄様
- 4位 渡辺 悟様
- 5位 国谷 一男様



上位入賞者の方々、おめでとうございます!



### ●編集後記●

知りたいことや載せてほしいことがあったら、何でもお答えいたします。

また、感想やご意見なども頂けたら嬉しいです。お待ちしております。

何かありましたら是非宜しくお願いいたします!

## 気になるお店

### 『すし処 大石屋本店』

昭和の香りが色濃く残る石岡の商店街の路地裏にある寿司屋、「すし処大石屋本店」。石岡市内の南台にも店舗があり、多くの人に利用されています。

大石屋のご主人は三代目に当たるそう、寿司屋一筋30余年。大石屋の看板は、現在の大石屋のご主人の祖父の代から始まり、初代が煎餅屋、二代目に当たる両親が甘味屋(お汁粉屋)で、代々『大石屋』の名前を守り継いでいます。

「ご主人は築地で江戸前寿司の修業をして、23年前から石岡で寿司屋を始めたそうです。ご主人は、「寿司に対してこれといったこだわりはない」と言いますが、「主人に話を聞いていてその意味がよく分かりました。新鮮な食材でおいしいものを出す」ということは、寿司職人として当たり前のことという強い信



リニューアルしたばかりの店内



一番人気のスタミナばくだん ¥700



マグロたっぷりの  
おもいっきりねぎとろ巻

念があるからで、寿司に対するこだわりがないということではなく、裏を返せばおいしいものを当たり前前に提供できるということが「こだわり」なのです。

大石屋本店は、先日リニューアルオープンしたばかりで、ゆったりと落ち着ける店内で、ゆつくりとおいしい寿司、刺身などを食べることが出来ます。

誰でもふらりと気軽に立ち寄れる店作りを一番に心がけており、注文しにくいお客さんの為にカウンターに呼び出しボタンを設置する気遣いなど、随所にご主人の細やかな気配りが感じられます。

メニューは他の寿司屋より豊富で、サイドメニューが充実しています。できるだけ手頃な値段で提供できるよう、自ら市場に足を運び、食材を仕入れていきます。随時、旬な食材を仕入れていくため、手書きのメニューは毎日変わります。マグロのほほ肉を使った「ビンタ焼」や骨付き中落ちの「唐揚」が人気です。

### 【店舗情報】

●大石家駅前本店●

石岡市国府 2-1-18

TEL: 0299-24-1148

営業時間: 17:00~20:00

定休日: 月・土・日

※「ワクワク通信を見た」で、

6月末日まで

生ビールを 250円 で提供 !!



刺身やサラダ、揚げ物など  
寿司以外のサイドメニューも充実

## ふるさと紀行

### 関東の清水寺 西光院



西光院(さいこういん)は石岡市吉生の峰寺山(みねでらさん)中腹にある天台宗の寺院で本尊は馬頭観音が祭られており、全国的な知名度はないものの、筑波山中腹の隠れた名所として古くから知られています。

本堂は、茨城県の有形文化財に指定されており、急斜面の岩に多くの柱を立てる、「懸造り」(かけづくり)または「舞台造り」と呼ばれる様式で建てられています。その様式は、京都の清水寺に似たつくりから「関東の清水寺」と呼ばれています。

伝承によれば、平安時代初期の大同2年(807年)に、京都の僧、徳一大師が開山したとされています。開山された当初は、

法相宗でしたが、鎌倉時代には真言宗へ改宗し、その後、天台宗となり現在に至ります。堂内の本尊は自然石で、高さ約10mの自然石と、その上部の直径約1m程度の丸石が重なっています。それが霊石・馬頭観音として本尊として深く信仰されています。

また、茨城県指定文化財の立木観音菩薩像が祀られており、像高5mを超える一木造の巨像で直立して立つ体部にはほとんど抑揚がなく、立木をそのまま刻んだように見えます。足下には台座の代わりに自然木の根を用いています。元々、山麓の吉生村の立木山長谷寺に安置されていたことがわかっています。「立木観音」の名で茨城県指定文化財に指定されているが、正しくは「十一面観音像」と称すべきものである。

